

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第2区分  
【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2007-197426(P2007-197426A)  
【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)  
【年通号数】公開・登録公報2007-030  
【出願番号】特願2006-345743(P2006-345743)  
【国際特許分類】

C 0 7 D 241/12 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

C 0 7 D 403/14 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 241/12 C S P

C 0 9 K 11/06 6 5 0

C 0 7 D 403/14

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

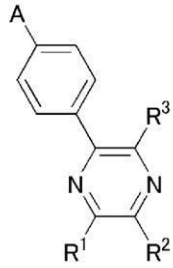
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

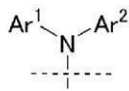
【請求項1】

一般式(  $g - 1$  )で表されるピラジン誘導体。

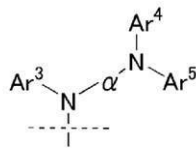
## 【化 1】



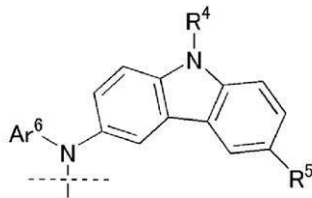
(g-1)



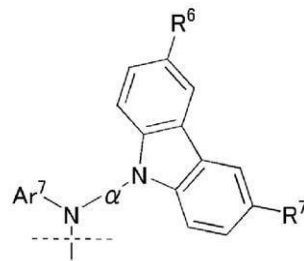
(a-1)



(a-2)



(a-3)



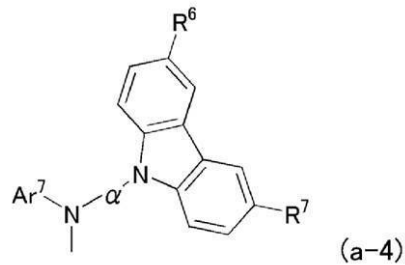
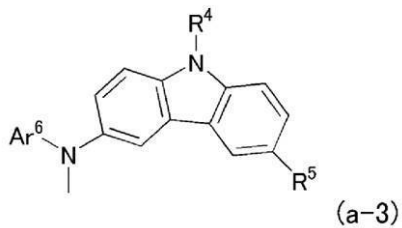
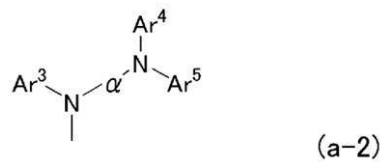
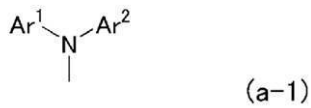
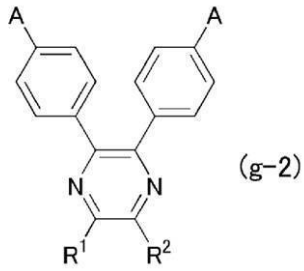
(a-4)

(式中の  $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  は、水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $A$  は一般式 (a-1)、一般式 (a-2)、一般式 (a-3)、または一般式 (a-4) で表される置換基のいずれかを表す。式中の  $R^4$  は、アルキル基、またはアリール基を表す。 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^1$ 、 $Ar^2$ 、 $Ar^3$ 、 $Ar^4$ 、 $Ar^5$ 、 $Ar^6$ 、 $Ar^7$  は、アリール基を表す。)

## 【請求項 2】

一般式 (g-2) で表されるピラジン誘導体。

## 【化2】

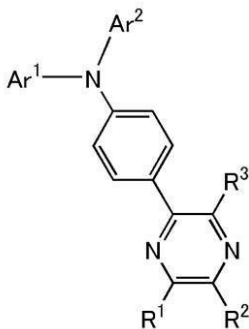


(式中の  $R^1$ 、 $R^2$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。A は一般式 (a-1)、一般式 (a-2)、一般式 (a-3)、または一般式 (a-4) で表される置換基のいずれかを表す。式中の  $R^4$  は、アルキル基、またはアリール基を表す。 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^1$ 、 $Ar^2$ 、 $Ar^3$ 、 $Ar^4$ 、 $Ar^5$ 、 $Ar^6$ 、 $Ar^7$  は、アリール基を表す。はアリール基を表す。)

## 【請求項3】

一般式 (g-3) で表されるピラジン誘導体。

## 【化3】



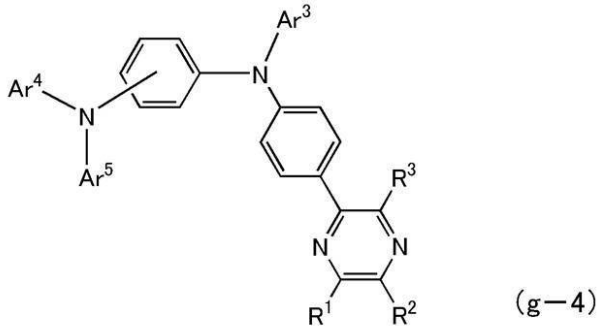
(g-3)

( 式中の  $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  は、水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^1$ 、 $Ar^2$  はフェニル基、1 - ナフチル基、2 - ナフチル基、2 - ビフェニル基、3 - ビフェニル基、4 - ビフェニル基、9, 9 - ジメチルフルオレン - 2 - イル基、スピロ - 9, 9' - ビフルオレン - 2 - イル基のいずれかを表す。 )

【請求項 4】

一般式 ( g - 4 ) で表されるピラジン誘導体。

【化 4】

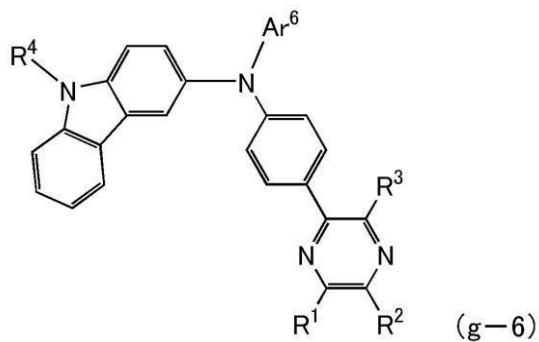


( 式中の  $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  は、水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^3$ 、 $Ar^4$ 、 $Ar^5$  は、アリール基を表す。 )

【請求項 5】

一般式 ( g - 6 ) で表されるピラジン誘導体。

【化 5】

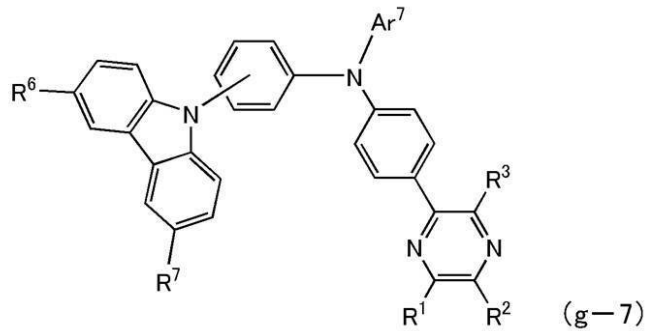


( 式中の  $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  は、水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^6$  は、フェニル基、1 - ナフチル基、2 - ナフチル基、2 - ビフェニル基、3 - ビフェニル基、4 - ビフェニル基、9, 9 - ジメチルフルオレン - 2 - イル基、スピロ - 9, 9' - ビフルオレン - 2 - イル基のいずれかを表す。 )

【請求項 6】

一般式 ( g - 7 ) で表されるピラジン誘導体。

## 【化 6】

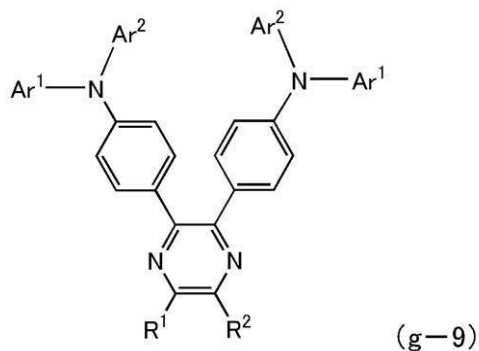


(式中の  $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  は、水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $R^6$ 、 $R^7$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^7$  はアリール基を表す。)

## 【請求項 7】

一般式 (g-9) で表されるピラジン誘導体。

## 【化 7】

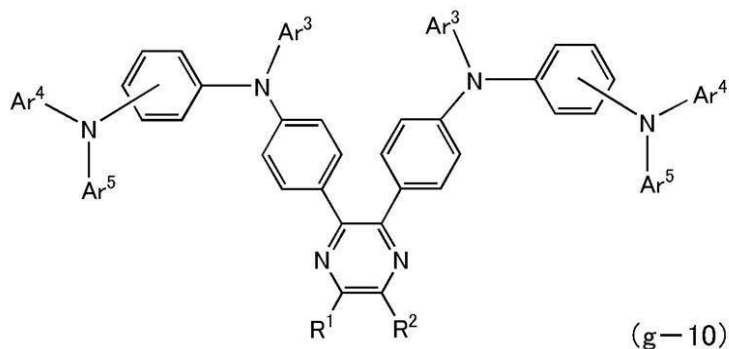


(式中の  $R^1$ 、 $R^2$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^1$ 、 $Ar^2$  はフェニル基、1-ナフチル基、2-ナフチル基、2-ピフェニル基、3-ピフェニル基、4-ピフェニル基、9,9-ジメチルフルオレン-2-イル基、スピロ-9,9'-ピフルオレン-2-イル基のいずれかを表す。)

## 【請求項 8】

一般式 (g-10) で表されるピラジン誘導体。

## 【化 8】

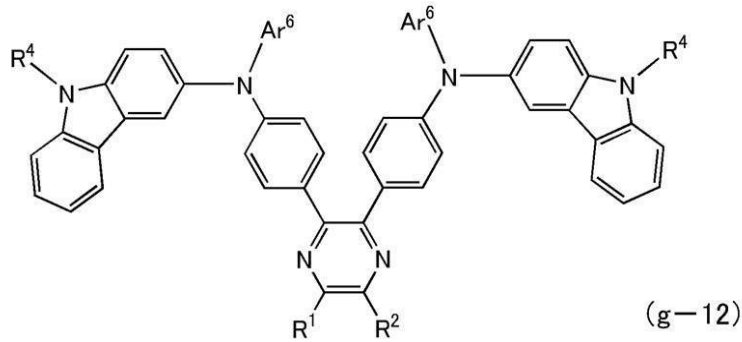


(式中の  $R^1$ 、 $R^2$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^3$ 、 $Ar^4$ 、 $Ar^5$  はアリール基を表す。)

## 【請求項 9】

一般式 (g-12) で表されるピラジン誘導体。

## 【化 9】

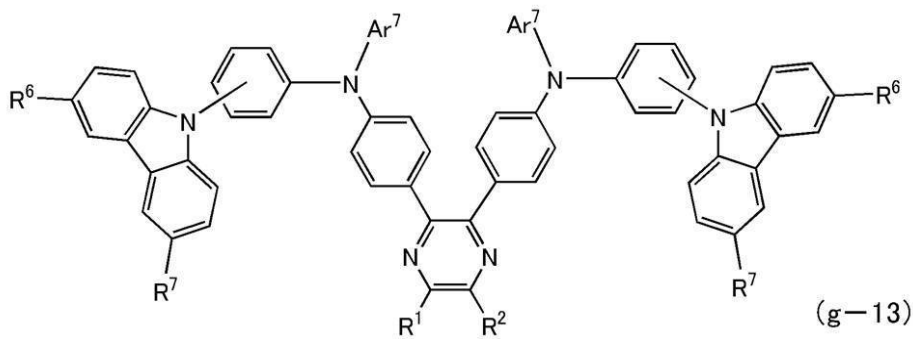


(式中の  $R^1$ 、 $R^2$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $R^4$  は、アルキル基、またはアリール基を表す。 $Ar^6$  はフェニル基、1-ナフチル基、2-ナフチル基、2-ピフェニル基、3-ピフェニル基、4-ピフェニル基、9,9-ジメチルフルオレン-2-イル基、スピロ-9,9'-ピフルオレン-2-イル基のいずれかを表す。)

## 【請求項 10】

一般式 (g-13) で表されるピラジン誘導体。

## 【化 10】



(式中の  $R^1$ 、 $R^2$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $R^6$ 、 $R^7$  は水素原子、アルキル基、またはアリール基のいずれかを表す。 $Ar^7$  はアリール基を表す。)

## 【請求項 11】

請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか一に記載の前記ピラジン誘導体を、一对の電極間に有する発光素子。

## 【請求項 12】

請求項 11 に記載の前記発光素子を有する表示装置。

## 【請求項 13】

請求項 11 に記載の前記発光素子を有する電子機器。